

2026 年



電 気 学 会 電 子・情 報・シ ス テ ム 部 門 大 会

先端技術セミナー・特別講演・セッション講演のご案内



(第 8 報)

1. 開催案内

2026年電気学会 電子・情報・システム部門大会では最新技術発表の「セッション講演」に加え、「先端技術セミナー」、「特別講演」を以下のとおり企画しており、「懇親会」、「技術見学会」なども予定しています。多くの皆様のご参加をお待ちしております。大会ホームページに参加申込書式を掲載しましたのでご利用下さい。

【会期】2026 年 8 月 26 日（水）～8 月 29 日（土）（8 月 29 日（土）は技術見学会を開催予定）

【会場】早稲田大学 北九州キャンパス

【先端技術セミナー】

日時：8 月 27 日（木）13:00～13:50（予定）

場所：北九州学術研究都市 会議場 メインホール

テーマ：「日本製鉄の GX への取り組みと九州製鉄所八幡地区の電炉化計画」

講師：中田 昌宏氏（日本製鉄株式会社 常務執行役員 九州製鉄所長）

内容：近年、グリーントランスフォーメーション（GX）の推進は、鉄鋼業を含む素材産業にとって、持続的成長と国際競争力を両立させるための中核的課題となっている。日本鉄鋼では、カーボンニュートラル（CN）の実現に向けて、大型電炉での高級鋼製造、水素による還元鉄製造、高炉水素還元といった「GX 革新技术の開発・実装」を、段階的かつ複線的に推進している。本講演では、日本製鉄における GX の取り組みの全体像を概観するとともに、九州製鉄所八幡地区において進めている高炉プロセスから電炉プロセスへの転換に焦点を当てる。八幡地区では、約 6,300 億円規模の投資により大型電炉の新設を含む大規模な設備転換を進めており、大型電炉による高級鋼一貫製造という世界初の挑戦を通じて、GX 時代における鉄鋼生産の姿と、地域社会と調和した持続可能な製鉄所の将来像について紹介したい。

【特別講演】

日時：8 月 27 日（木）14:00～15:00（予定）

場所：北九州学術研究都市 会議場 メインホール

テーマ：「北九州の歴史と風土、そして文学」

講師：今川英子氏（北九州市立文学館 館長）

内容：九州の最北端に位置する北九州市は大陸にも近く、人・モノ・情報が行き交う交通の要衝であった。近代に入ると、筑豊炭田を背景に八幡製鐵所開業後は重工業都市として発展、さらに近年は環境都市としても注目されている。本講演では港町、城下町、工業都市として重層的に形成された北九州の歴史をたどり、関門海峡や洞海湾、遠賀川流域などの自然環境と人々の暮らしが織りなす風土にも注目。軍都小倉に赴任してきた森鷗外や火野葦平、林芙美子、松本清張、俳人の杉田久女など北九州ゆかりの文学者を紹介しながら、作品に描かれた北九州の風景や人情を読み解く。歴史・風土・文学という視点から北九州の奥深い地域文化とその魅力を再発見する機会としたい。

【英語論文の書き方セミナー】

日時：8 月 26 日（水）13:00～14:00（予定）

場所：早稲田大学北九州キャンパス 講義室 9/10（S153/S154）（予定）

講師：家入祐也氏（早稲田大学大学院情報生産システム研究科 准教授）

【学生セミナー】

日時：8 月 28 日（金）9:30～12:00（予定）

場所：早稲田大学北九州キャンパス 語学ラボ（予定）

テーマ：「就活前に知りたい企業・研究機関のワークスタイル」

講師：明電舎、電力中央研究所、日立製作所、三菱電機、東芝、情報通信研究機構ほかの技術者・研究者

内容：毎年、企業と学生の交流の場として開催しており、各企業の生の声が聞ける！と評判の企画です。今回は「就活」にフォーカスして、個性豊かな講師陣から各企業等の組織・採用や講師個人の就職にまつわる体験談、就職後の実務経験をご紹介します。交流会では小規模なグループに分かれて、ざっくばらんに質問に答えていただきます。素朴なギモン、鋭いツッコミを用意して、気軽にご参加ください。

【セッション講演】

○大会委員会提案企画セッション（5 件）

MC1：DX への取組み事例から見える中小企業戦略～事例を中心にして
MC2：エネルギー×デジタルインフラの未来 ～ワット・ビット連携が拓く電脳熱融合のフロンティア～
MC3：マテリアル DX：機械学習による材料設計と信頼性評価の統合解析
MC4：生産・社会システムにおける人工知能技術の応用
MC5：環境適応型計測システム
○技術委員会提案セッション（22 件）
TC1：人の技能データの計測・評価・活用
TC2：確率的最適化手法とその周辺技術における現状の課題と今後の展開（Ⅰ）（Ⅱ）
TC3：神経工学（Ⅰ）（Ⅱ）（Ⅲ）
TC4：DX の開発と活用 ～テクノロジー，マネジメント，その人材育成～
TC5：スポーツ・医療・教育におけるセンシング技術の展開（Ⅰ）（Ⅱ）
TC6：情報システム技術
TC7：DX への取組み事例から見える中小企業戦略
TC8：DX に向けた制御技術教育
TC9：制御・信号処理技術とその応用展開
TC10：未来へつなぐ電子・集積回路教育と若手技術者の歩み
TC11：ヒューマンセンタードシステムのための情報・制御技術
TC12：サイバーフィジカル技術を活用したスマートシステム社会実装の最新動向
TC13：分野横断によるメカトロニクス技術の展開
TC14：テラヘルツ波の新展開：バイオセンシングへの応用
TC15：多様なデータと応用に向けた高度な機械学習手法
TC16：ETT 理論視点の利活用
TC17：スマートビジョン
TC18：次世代電磁波応用を切り拓く先進的技術の最新動向
TC19：モデルベース制御とデータ駆動制御—融合に向けた理論と実践
TC20：知・技伝承のための xR 技術
TC21：実際の AI 技術の実現に向けた機械学習
TC22：有機関連デバイスの基礎と応用 2026
○公募セッション（4 件）
OS1：ICT とスマート社会（Ⅰ）（Ⅱ）
OS2：生体情報・画像・CG 処理とその応用
OS3：次世代車載ソフトウェアの基盤技術 - 密結合マルチコアプロセッサによる決定論的制御の実現 -
OS4：ヒューマン・ロボットシステム
○一般セッション（8 件）
GS1：計測・制御システム
GS2：情報通信工学・センシング
GS3：信号処理
GS4：電気電子回路・デバイス
GS5：ソフトコンピューティング
GS6：機械学習・知能・ロボティクス
GS7：情報システム・メディア情報・ユーザインタフェース
GS8：生体医工学・福祉工学
○学生ポスターセッション（11 件）
PS1：スマートシステム・クラウドコンピューティング
PS2：信号処理・光工学
PS3：生体医工学・福祉工学（Ⅰ）
PS4：生体医工学・福祉工学（Ⅱ）
PS5：音声画像処理・認識・知覚情報・知能ロボティクス
PS6：情報処理・ソフトウェア・メディア情報・ユーザインタフェース
PS7：センシング・情報通信工学
PS8：電気電子回路・電子物性・デバイス・バイオエレクトロニクス

PS9：計測・制御システム
 PS10：機械学習・ソフトコンピューティング（Ⅰ）
 PS11：機械学習・ソフトコンピューティング（Ⅱ）
 ○Student Competition Session（2件）
 SS1：Student Competition Session（Ⅰ）
 SS2：Student Competition Session（Ⅱ）

【懇親会】

日時：8月27日（木） 19:00～21:00
 場所：JR九州ステーションホテル小倉
 ＊参加費 一般 6,000 円，学生 4,000 円（予定）
 ＊懇親会の参加登録・お支払いについては別途お知らせいたします。

【技術見学会】

日程：8月29日（土）
 場所：未定

【大会参加費】 会員（a, b, e, f）：不課税，会員外（c, d）：消費税込み（講演論文集※を含む）

※ZIP 形式，一括ダウンロード

区分	早割（2026年7月24日まで）	通常（2026年8月28日まで）
(a) 正員（協賛学会員を含む）	18,000 円	20,000 円
(b) 准員・学生員（協賛学会員を含む）	5,000 円	7,000 円
(c) 会員外	37,000 円	39,000 円
(d) 会員外学生	8,000 円	10,000 円
(e) 入会キャンペーン（一般）	31,000 円	33,000 円
(f) 入会キャンペーン（学生）	8,000 円	10,000 円

＊会員外の方が，大会参加を機に電気学会に入会されますと，入会金，初年度会費＋大会参加費の合計金額より安価とする入会キャンペーンを実施致します。ぜひ，この機会に入会キャンペーンをご利用ください。なお，キャンペーンを利用する場合は大会参加の登録のみで，別途の入会手続きは不要です。

（令和8年度の入会金＋会費（年額）は学生員：4,800 円（学生員は年会費のみ），正員：13,200 円）

【講演時間】

一般セッション：講演 15 分，質疑 5 分

大会委員会提案企画セッション・技術委員会提案セッション・公募セッション：発表方法および発表時間はセッションごとに異なります。

学生ポスターセッション：詳細については，部門大会ホームページ掲載の「ポスターセッションの発表手引き」を参照下さい。学生ポスターセッションの発表者はセッション開始時間前にポスターの掲示を完了させて下さい。

Student Competition Session：講演 12 分，質疑 3 分

【表彰】

- ・優秀論文発表賞（2026 年 1 月 1 日現在で 35 歳以下の方で，優れた論文を発表された方）若干名
- ・C 部門大会奨励賞（2026 年 1 月 1 日現在で 35 歳以下の方で，優れた論文を発表された C 部門登録者）若干名
- ・C 部門大会企画賞（C 部門大会の企画セッション活性化に多大な貢献をされた C 部門登録者）若干名
- ・優秀ポスター賞（学生ポスターセッションにおいて優れた発表をした学生）若干名
- ・Outstanding Student Presentation Award（Student Competition Session において優れた発表をした学生）若干名

【部門誌への投稿】

C 部門大会での研究発表を特集論文として投稿いただく部門大会特集号（2027 年 7 月号，2026 年 9 月 28 日（月）投稿締切）を企画しています。詳細は，公開予定の会告を参照下さい。

【CPD 受講証明サービス】

本大会へのご参加・論文発表等は，当学会が登録・管理する技術者継続教育（CPD）受講証明サービスの対象です。詳細は，電気学会ホームページ（https://www.iee.jp/member_serv/cpd/）をご覧ください。

【主催】電気学会 電子・情報・システム部門

【共催】早稲田大学大学院情報生産システム研究科，電気学会九州支部

【協賛】北九州市，北九州観光コンベンション協会，映像情報メディア学会，エレクトロニクス実装学会，応用物理学会，計測自動制御学会，システム制御情報学会，情報処理学会，照明学会，精密工学会，

電子情報通信学会, 日本オペレーションズ・リサーチ学会, 日本感性工学会, 日本生体医工学会,
日本設備管理学会, 日本知能情報ファジィ学会, レーザー学会, IEEE Fukuoka Section

【電子・情報・システム部門大会ホームページ】

<https://www.iee.jp/eiss/conf/conf2026/>

【問い合わせ先】

(一社) 電気学会事業サービス課 電子・情報・システム部門大会係

〒102-0076 東京都千代田区五番町6-2 Homat Horizon ビル8階

E-mail: conf21c@iee.or.jp

※電気学会では一部在宅勤務や時差出勤を実施しております。お問い合わせはメールでいただきますようお願い申し上げます。

【注意】本部門大会では、大会関係者が、特別講演、各セッション、懇親会などを写真撮影し、その一部をホームページで公開することがございます。あらかじめご了承くださいませようお願い申し上げます。